



17



天竜川の景勝地「天龍峡」川路地区を結ぶ。四回にわたりにあり、東の龍江地区と西のり架け替えられ、初代は一八

# 中国の古代伝説に由来

七七(明治十)年に竣工。四代目は一九七一(昭和四十六)年に完成し、現在にいたる。「信濃の橋百選」にも選ばれている。

姑射橋の名前が定着したのは二代目のつり橋以降で、それまでは太田橋と呼ばれていた。一八八二(明治十五)年に書家で詩人の目下部鳴鶴が

天龍峡を来訪。絶壁に架かる橋を見て、中国の古代伝説の不老不死の仙人が住む仙境「貌姑射山」に通じる橋に見立て、姑射橋と名付けた。

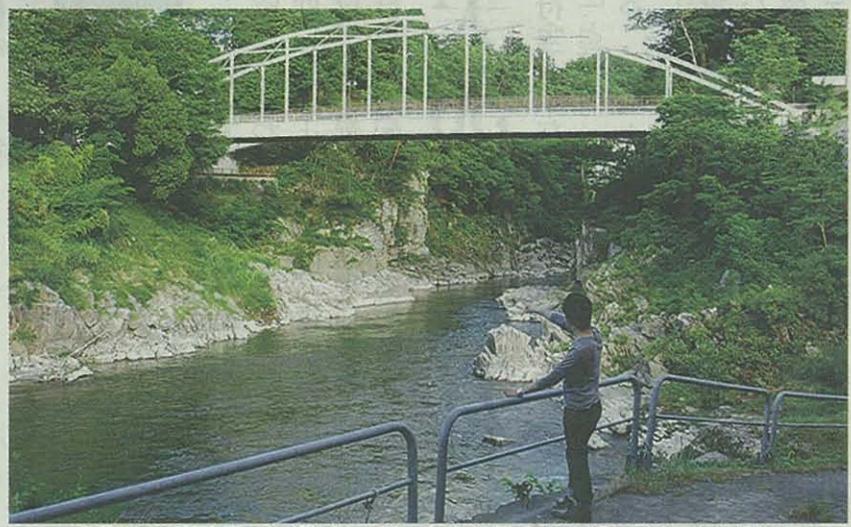
三代目は東京・御茶の水の「聖橋」を模した下部アーチ橋。一九六一(昭和三十六)年の三六災害を機に撤去され、橋の門柱と袖垣は龍江小と川路小の校門に移設された。

現在の橋は、全長約八十九。橋から下流を眺めると、角張った岩が重なり合って川幅が狭まる。この橋が分岐点となり、天竜川流域は耕地から山岳地へと表情を変え、人々を急峻な山々へといざなっていく。

(札木良)

## 姑射橋

(飯田市川路)



「信濃の橋百選」に選ばれている4代目の姑射橋＝飯田市川路で